

「3期生ここにあり」

長年、琴古流尺八竹友社で活躍され世界中で演奏されてこられた3期生の齋藤正健君(号 秀輔)が、この度ウズベキスタンで開催された世界東洋音楽祭で第3位に入賞されました。

彼は日本では勿論、アメリカ、ロシア、欧州で演奏旅行をされており世界的にも良く知られた存在です。

(写真左側が齋藤正健君です)

2013年(平成25年)9月16日(月曜日) ☆ 芸能ワイド 14 東京新聞 第1版

## ウズベクに響く「究極の祈り」

### 日本の尺八3位

世界東洋音楽祭



ウズベキスタン共和国の古都サマルカンドで「シルク・タロウラ(世界東洋音楽祭)」が先、3開かれ、日本代表の琴古流尺八竹友社(川瀬順輔宗家)が、二位に入賞した。日本代表が上位入賞したのは今回が初めて。川瀬宗家は「尺八は究極の祈りの音楽。それを皆さんに理解していただくと嬉しい」と喜びをかみしめていた。(真壁聖一)

野外ステージに絞付き袴姿で上がったメンバーは正座。尺八を押し頂いて一礼した後、霧が獅子のように見える様子をつつた「雲井獅子」、次いで日本の霧雲上山に着想を得て川瀬宗家が作曲した「霧上山」を演奏した。この日は、尺八の音楽を飛ばしてしまおう虎門の風も吹かず、最高のコンディション。夜空に幽玄な音色が広がる、千人を超える観客はじつと目を凝らした。

審査の結果は三日の閉会式で発表され、日本の二位が告げられると会場からは「ボニヤ(日本)！」と祝いの声が上がった。開催国ウズベキスタンは三位に入賞し、日本のメンバーとウズベキスタンの人々が抱き合う光景も見るに値した。

グランプリはインド、一位百九十八人の音楽家が参加し、川瀬宗家ら八人は八月二十三日にウズベキスタン入り。ファン、二位は中国と韓国た竹友社への参加依頼は百連日三五度を超す簡便へ傾けた。

同日音楽祭は同国がユネスコの協賛で、シルクロードの名本芸能演劇団体協議会(芸残を継ぎサマルカンドの三団協)を通じて持ち込まれたドレセ(神学校)濃霧。た。川瀬宗家は月に日本三レキスタン広場を会場に一九曲協会の会長に就任したばかりのメンパーとウズベキスタ九七年から隔年で開催している。多忙を極めたが「日本とのつながりを大切にする伝承者の祭典。九回目のウズベキスタンの存続のため」と、今回(百五十三万回から三)なら」と引き受けた。

百九十八人の音楽家が参加し、川瀬宗家ら八人は八月二十三日にウズベキスタン入り。ファン、二位は中国と韓国た竹友社への参加依頼は百連日三五度を超す簡便へ傾けた。

邦楽  
hougaku



世界東洋音楽祭で熱演する川瀬順輔宗家と出演者で最高齢81歳の齋藤秀輔さん＝ウズベキスタンで。(真壁聖一撮影)